

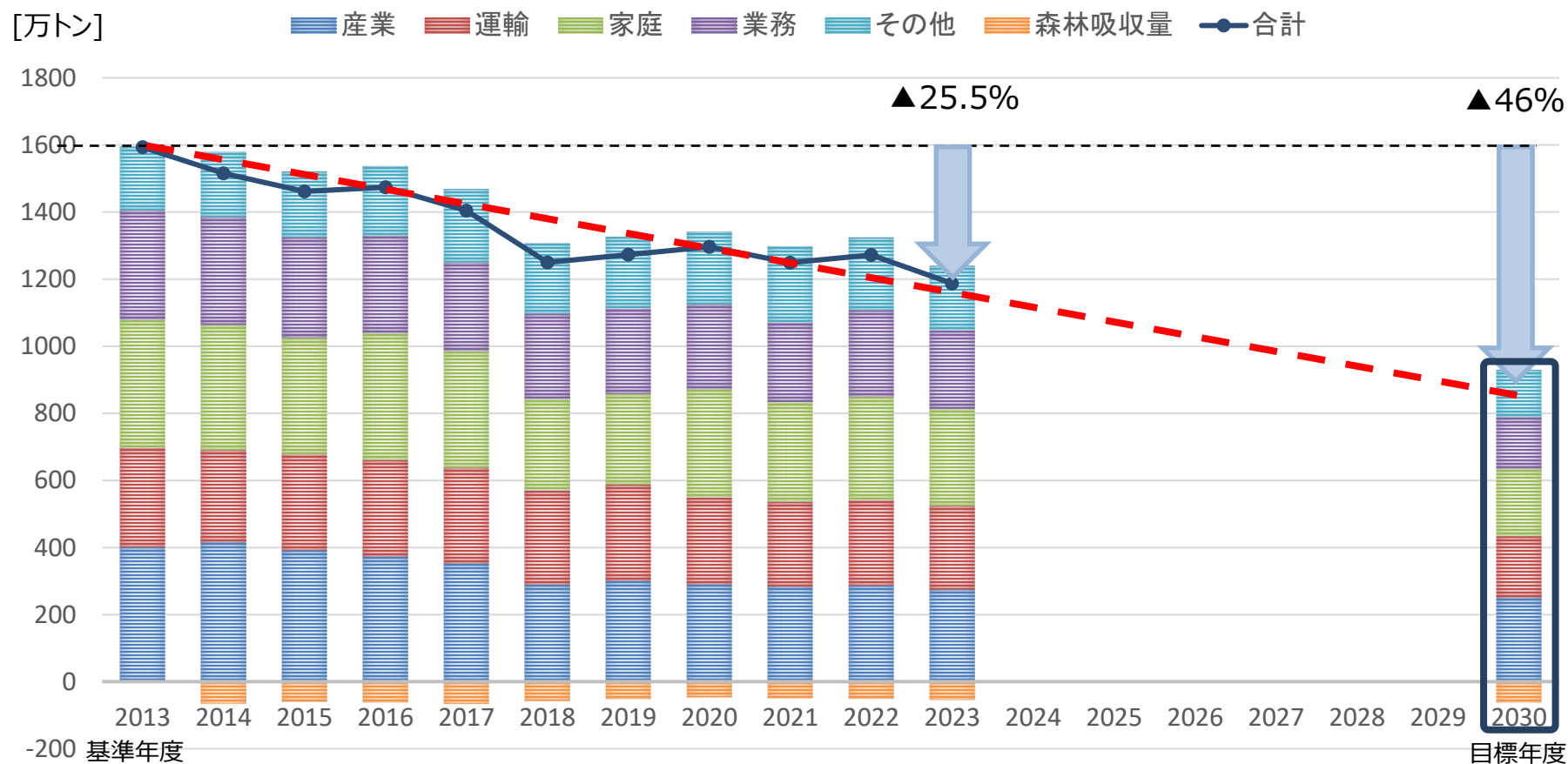
令和5（2023）年度の 京都府における温室効果ガスの排出量について

2025年10月7日（火）
京都府総合政策環境部
脱炭素社会推進課

京都府における温室効果ガスの排出量

2

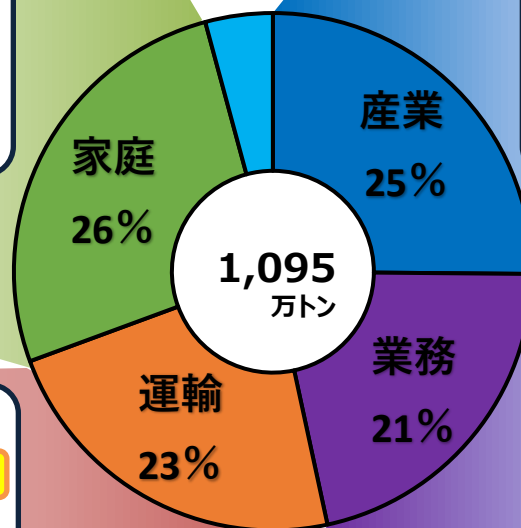
- 京都府の温室効果ガス削減目標 2030年度に2013年度比で**46%以上削減**
- 府内における**2023年度温室効果ガスの排出量**は1,187万トン
(2013年度比 **▲25.5%**、前年度比 **▲6.7%**)
- エネルギー消費効率の向上や電気の二酸化炭素排出係数の低下等により、温室効果ガス排出量は減少
- またエネルギー消費量は、前年度比で1.1%減少



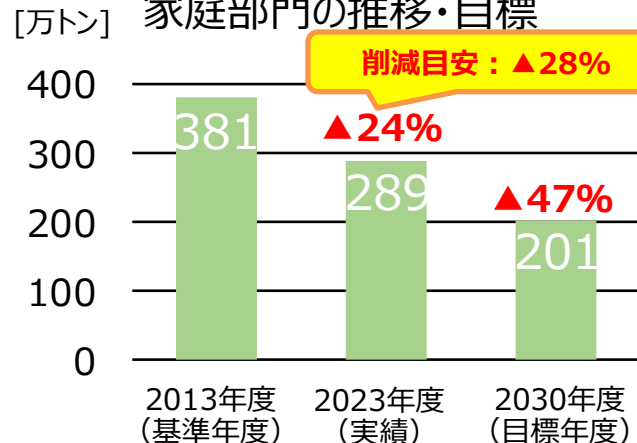
京都府における部門別の温室効果ガス排出量

3

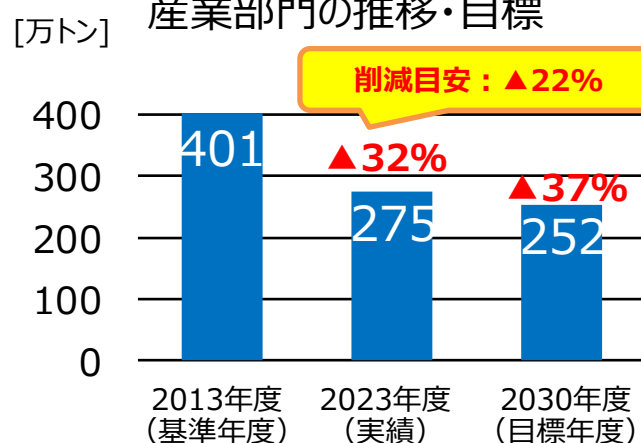
2023年度の 府内排出実績 ※エネルギー起源のみ



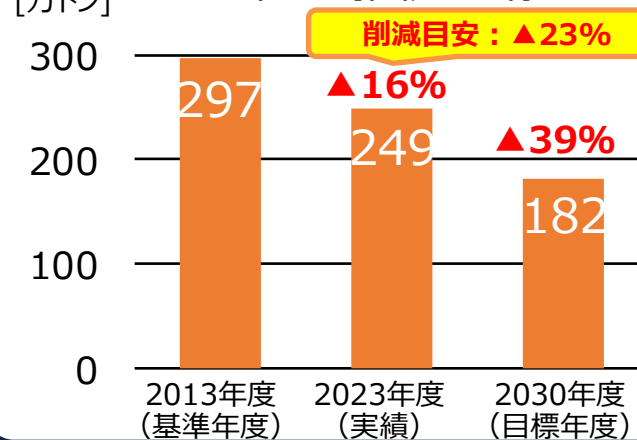
家庭部門の推移・目標



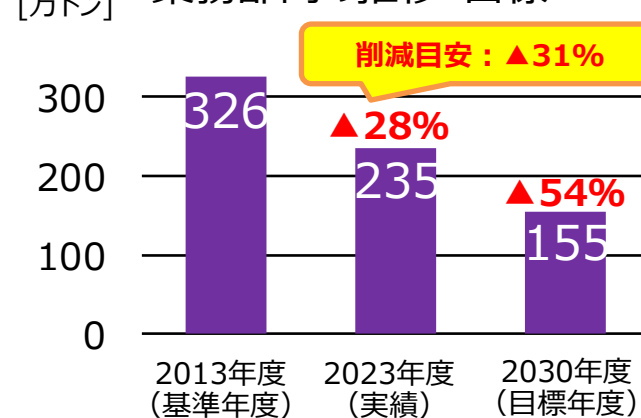
産業部門の推移・目標



運輸部門の推移・目標



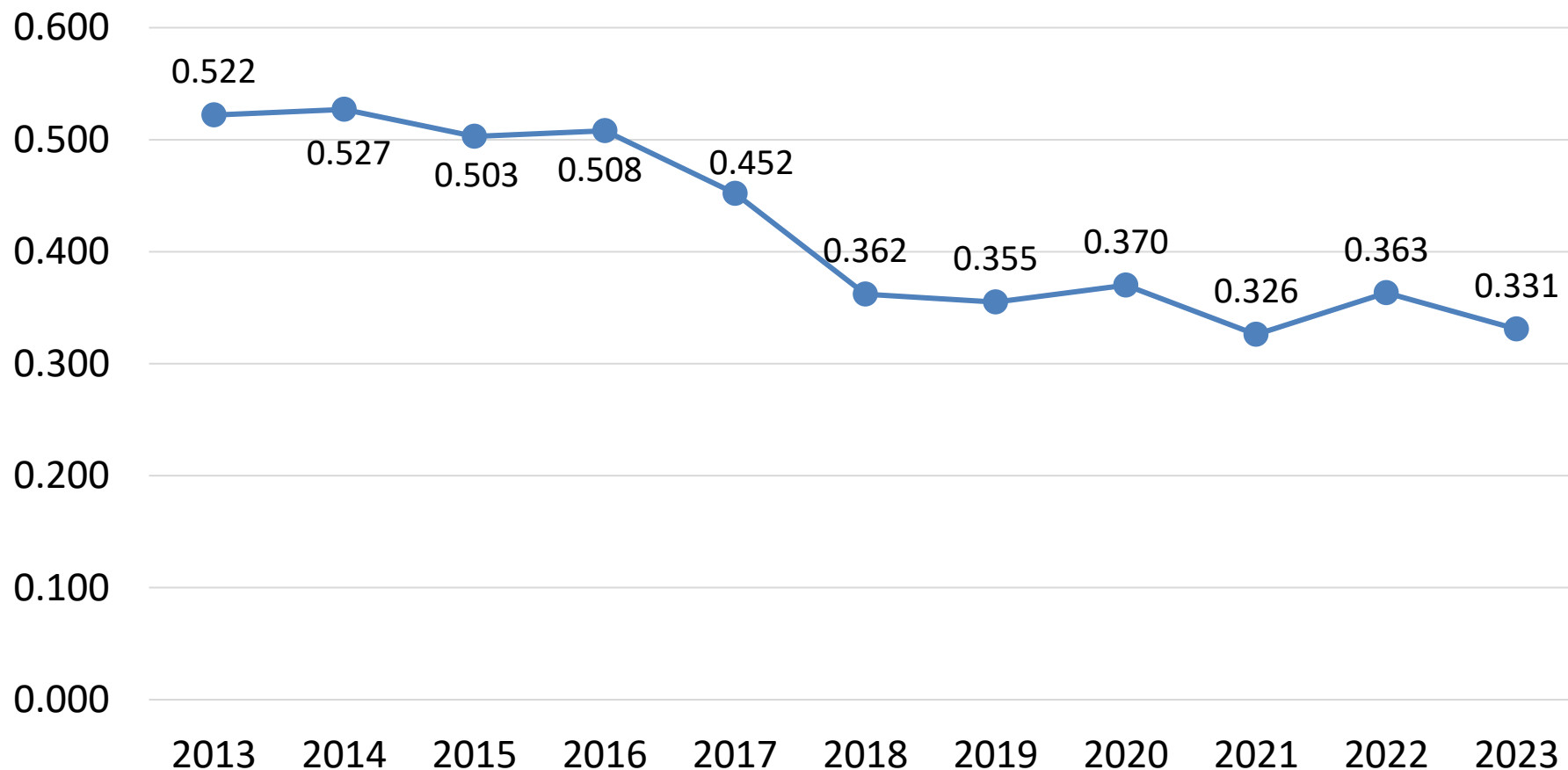
業務部門の推移・目標



※削減目安とは、2013年度から2030年度の目標年度に向け、毎年均等に削減すると想定した場合の当該年度における割合

- 排出係数は低下傾向であり、府の温室効果ガス排出量削減に寄与している。

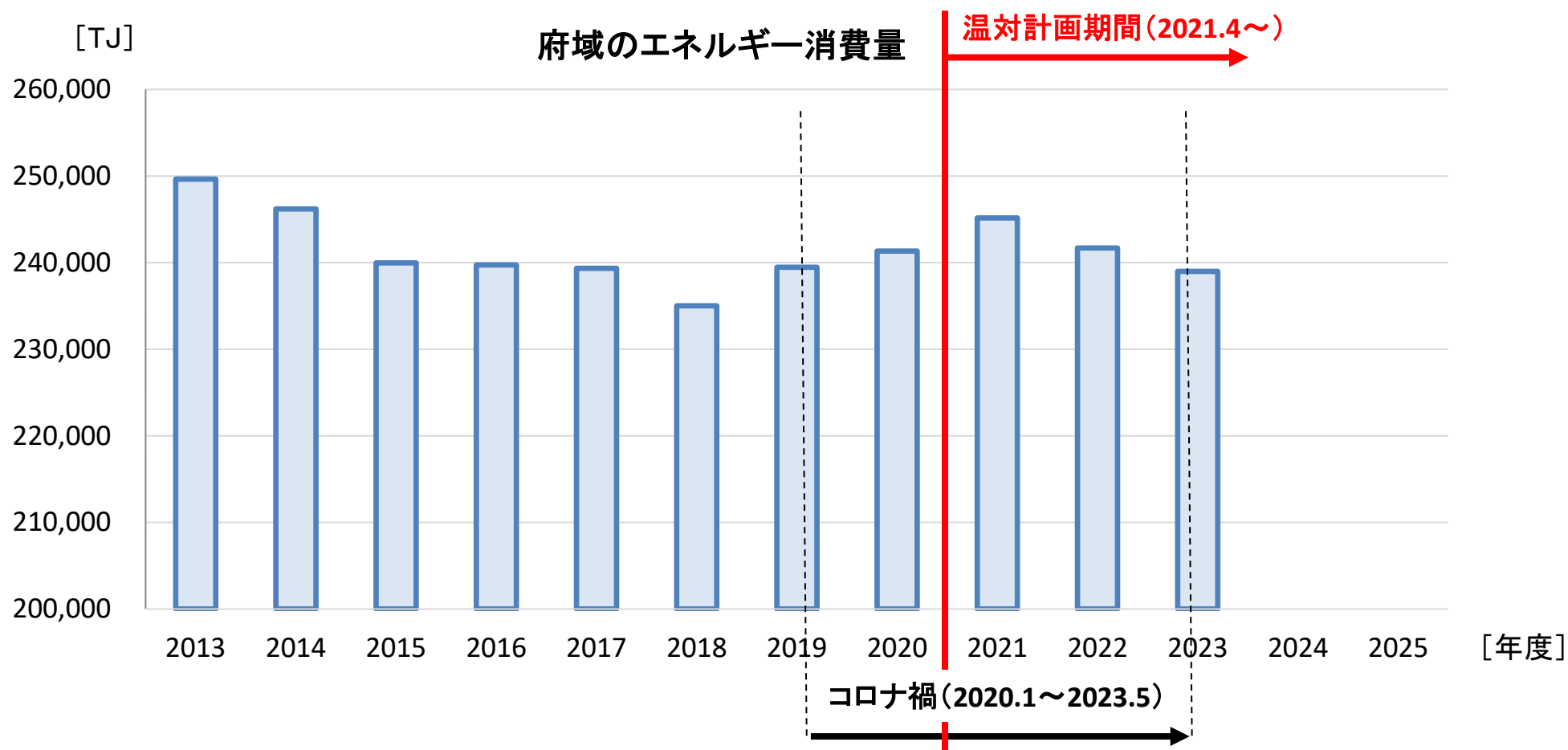
京都府域の排出係数 [kg-CO₂/kWh]



※小売電気事業者宛て府内への電気販売量を照会し、加重平均をとり算出

※電気の排出係数（1 kWh の電気を発電する際に排出される二酸化炭素（CO₂）量）

- 現行の京都府地球温暖化対策推進計画は2021年度から開始
- コロナ禍によるライフスタイルの変化等による社会変動は大きく、2013年度以降減少傾向にあったエネルギー消費量は、2019年に増加に転じたが、2021年から再び減少へ

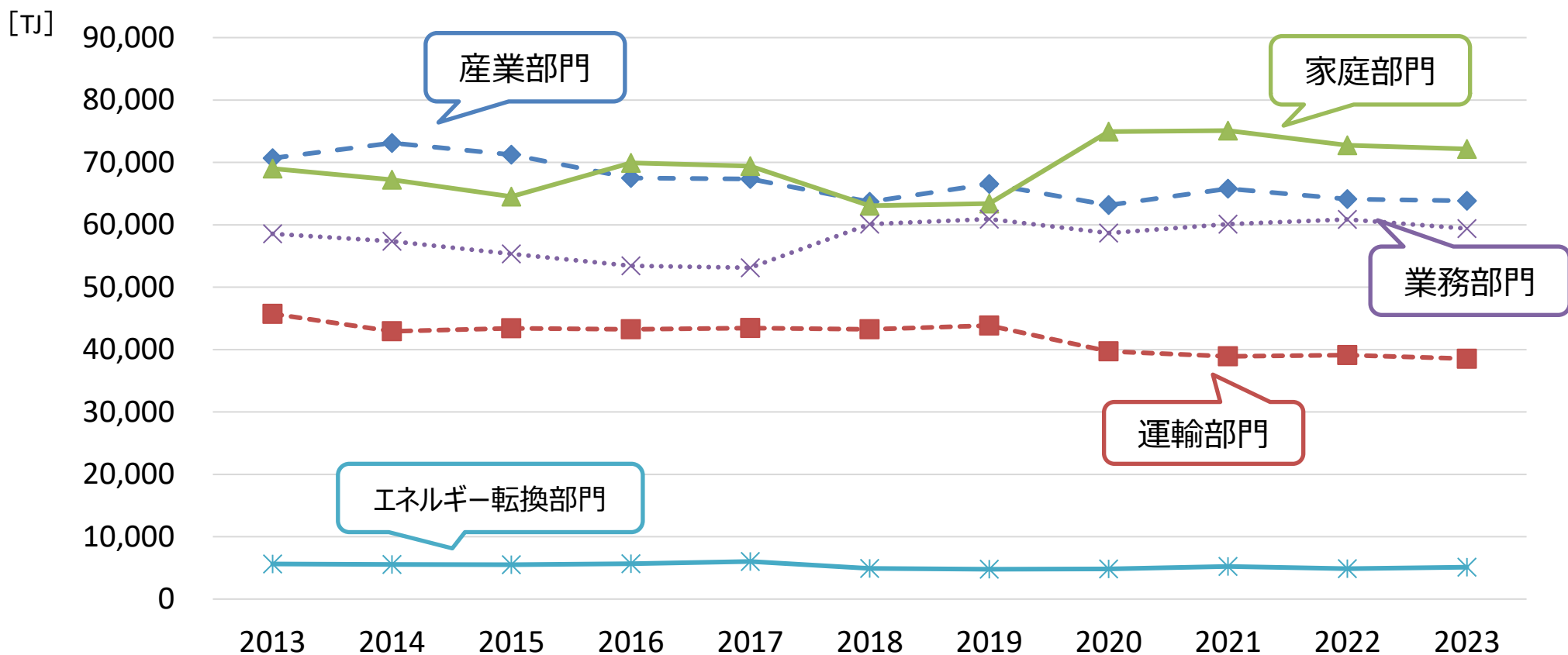


※京都府の温室効果ガス排出量算定時に使用しているデータから算出

京都府における部門別のエネルギー消費量

6

- 産業部門：エネルギー消費効率の向上等により、減少【▲0.5%】
 - 運輸部門：新型コロナウイルス感染症の5類感染症への移行による公共交通機関等への転換や燃料価格の高騰に伴い、移動手段に占める自動車割合の低下等により、減少【▲1.5%】
 - 家庭部門：暖冬によるエネルギー消費量の減少等により、減少【▲0.8%】
 - 業務部門：エネルギー価格高騰による省エネ行動等により、減少【▲2.4%】
- ※【 】は前年度比



※京都府の温室効果ガス排出量算定時に使用しているデータから算出